

とちぎ 発

元気農業

ふるさととちぎ 21 活性化塾だより



平成 28 年

62 号



農業の6次産業化シンポジウム



松本謙氏による講演

(公財) 栃木県農業振興公社では、栃木県、フードバレーとちぎ推進協議会と連携し、平成 28 年 7 月 21 日に栃木県庁東館講堂において、「農業の 6 次産業化シンポジウム」を開催しました。

まず、6 次産業化実践アドバイザーの松本謙氏が「交流拠点を核とした地域 6 次産業化の推進」について講演を行い、その後、栃木市西方町の農産物加工組合「おとめ会」の事例発表などを行いました。

会場では 130 名を超える農業者や関係者らが、今後の事業展開のために熱心に聞き入っておりました。

目次

- 2 6 次産業化総合化事業計画の認定について
- 3 平成 27 年度の就農相談件数が過去最多！
- 3 消費者と生産者の交流の場を一つなごう！食と農実践講座 受講者募集
- 4 ふるさととちぎ 21 活性化塾アドバイザー派遣
- 4 平成 28 年度（第 25 回）ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクールの募集
- 4 平成 28 年度美しいとちぎのむら写真コンテストの募集



- ・6次産業化総合化事業計画の認定について
- ・平成27年度の就農相談件数が過去最多！

6次産業化総合化事業計画の認定について

(公財) 栃木県農業振興公社では、「栃木6次産業化サポートセンター」を設置しております。

このたび、平成28年3月31日付で1件、6月30日付で2件の6次産業化総合化事業計画が新たに認定され、栃木県での認定件数は合計42件となりました。なお、新たに認定された方々の事業計画の概要は次のとおりです。



(有)卵明舎（宇都宮市）

自社生産の「磨宝卵 GOLD」を活用して、プリン、タルト、マヨネーズ等の開発・販売を行い、自社の知名度やブランド力を高め、経営の向上と雇用拡大及び地域の活性化を目指します。

【写真は代表取締役社長の寺内昌文氏】



小山だちょう園（小山市）

桑の葉や大麦等で育てた自家産ダチョウ肉を原料に、ソーセージの加工・販売を行い、自園の経営の安定と所得の向上を図るとともに、地域の活性化と地域ブランド力の向上を図ります。

【写真は代表の片柳雄大氏】



浅野鶏卵（那須町）

自家生産の有精卵「那須の子宝たまご」を活用して、「那須の子宝たまごの贅沢プリン」の開発・販売を行うことにより、所得の向上と付加価値の高い農業経営を目指します。

【写真は代表の浅野晃子氏】

平成27年度の就農相談件数が過去最多！

(公財) 栃木県農業振興公社の新規就農相談センターにおける平成27年度の就農相談件数が398件を数えました。これは当センターが就農相談を開始して以来、最多となります。その主な要因としては、県が新たにスタートさせた「とちぎでいちごを始めようプロジェクト事業」の取り組み効果が上げられます。また、就農希望者を対象に都内やアグリプラザ内での各種相談会をはじめ、新規参入フォーラムや現地セミナー、法人就農見学会等を積極的に実施していることが、相談件数の増加につながりました。



① 都内（新・農業人フェア）での就農相談会



② 県内（アグリプラザ内）での就農相談会



③ 新規参入フォーラム in とちぎ



④ 新規参入現地セミナー（有機農業）



消費者と生産者の交流の場を！



～つなごう！
食と農実践講座
 受講者募集～

H 28 年度案内チラシ



講座のようす

(公財) 栃木県農業振興公社では、「消費者と生産者の相互理解」をコンセプトに、今年度も食と農に関する市民講座「つなごう！食と農実践講座」を開催いたします。今年度のテーマは「とちぎのおいしさ、探しに行こう」です。講座は次の2コースで構成されています。

☆「大人のための知る・見る・味わう」コース

10～12月に全5回シリーズで、「とちぎのおいしい‘米・麦・野菜・肉・酒・魚’」について、生産者等からそのこだわりを伺い、県産農産物への理解を深めます。

☆新設「親子で楽しむ食と農」コース

親子（保護者と小学生）を対象に食材のプロを講師に迎え「大麦・きのこ・米粉」の料理教室等を開催いたします。より幅広い年齢層に‘とちぎの農産物’の魅力伝えてまいります。

各講座の詳細につきましては、「とちぎアグリプラザ」のHPでご案内しております。



現地視察も行います

ふるさととちぎ21 活性化塾アドバイザー派遣

ふるさととちぎ21 活性化塾〔(公財) 栃木県農業振興公社〕では、アドバイザーを派遣し、担い手の育成や地域の合意形成づくりなど、地域活性化と農業振興を支援しています。ぜひ御活用ください。

- 派遣先： 市町マネージメント組織・協議会・集落・営農集団等
- 派遣時期： 随時
- 派遣費用： 原則無料（上限 20,000 円まで塾が負担します）
- 助言分野： 地域計画・地域づくり・地域食材活用・自然活用・文化芸能・マーケティング 等



- ・平成28年度（第25回）ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクールの募集
- ・平成28年度 美しいとちぎのむら写真コンテストの募集

平成28年度（第25回）ふるさととちぎ農業・農村児童画コンクールの募集

活力ある農業の姿や農村の情景に親しみ、これらを描くことによって農業・農村のすばらしさを知るとともに、優秀作品を展示して広く県民の方々に農業・農村の理解と関心を深めていただくために開催します。

1. 応募資格 県内の小学校で学ぶ児童
2. 募集テーマ 私が描く農業・農村
作業の風景、農家の人々の暮らし、市場や農産物直売所の情景、体験農業のようすなど
3. 作品の規格 B3の画用紙（1～4年生はB4でも可）
4. 応募方法 小学校でとりまとめ、9月9日までに市町の農政担当課に送付してください。
5. 表彰 低学年（1～2年生）、中学年（3～4年生）、高学年（5～6年生）の区分毎に、最優秀賞（栃木県知事賞）各1点、優秀賞（栃木県教育長賞・栃木県農政部長賞）各2点、優良賞（ふるさととちぎ21活性化塾長賞）各12点
6. 入賞作品の展示 10月29～30日に開催される「とちぎ“食と農”ふれあいフェア2016会場（栃木県庁15Fロビー）」で展示するほか、平成29年2月13～17日まで栃木県庁15Fロビーで再展示します。
また、最優秀賞・優秀賞作品は、とちぎアグリプラザ3階ロビーで平成29年10月まで常設展示します。

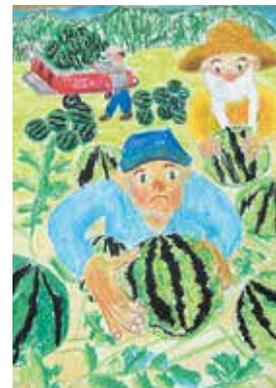
27年度最優秀賞作品



下野市立国分寺小6年 篠原 涉さん
「稲刈り」



宇都宮市立陽光小3年
田中 悠揮さん
「大根ぬけたぞ」



宇都宮市立豊郷中央小2年
須藤 駿介さん
「スイカの収穫」

平成28年度 美しいとちぎのむら写真コンテストの募集

農村地域における農業生産活動の姿や美しい農村の四季折々の風景などを、将来を担う中高生に撮影いただき、広く農業・農村への理解と関心を深める契機とします。

1. 応募資格 県内の中学校・高校に在学する生徒
2. 募集テーマ 躍動する農業・農村の姿を撮ってみよう
部門1 農業に生き生きと携わる人々の姿
部門2 農地、水、農村環境を守る活動
3. 応募規格 四つ切り又はA4版カラーもしくは白黒プリント（デジタル合成処理は不可）
4. 応募上の注意 作品は県内でフィルムカメラ、デジタルカメラで撮影した未発表の写真
応募点数は1人あたり5点以内
5. 応募方法 応募写真の裏に応募票を貼付し、11月30日までに農業振興公社に送付ください。
6. 表彰 最優秀賞 各部門 1点（栃木県知事賞）
優秀賞 各部門 2点（栃木県農政部長賞）
入選 各部門 10点以内
7. 入賞作品の展示 入賞作品は公社ホームページで紹介いたします。また、平成29年2月13～17日に栃木県庁15階展望ロビーで展示をします。

27年度最優秀賞作品



真岡市立長沼中学校2年 杉山 幸大さん



真岡市立長沼中学校2年 上野 聖幸さん

とちぎ発 元気農業 ふるさととちぎ21活性化塾だより62号

発行日 平成28年8月25日
編集・発行 ふるさととちぎ21活性化塾
所在地 〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13
(公財) 栃木県農業振興公社内

TEL 028 (648) 9515 FAX 028 (648) 9517
URL : <http://www.tochigi-agri.or.jp>
Eメール : info@tochigi-agri.or.jp

